

CityView!



「CityView!」では、市のイベントや地域的话题を、市民の皆さんにお届けします。
 <掲載した写真は、データで提供します。希望の方は問い合わせください。>

ピカピカの1年生 各校で入学式

「高い志と大きな夢を持って大きな一歩」

春の入学シーズンを迎え、市内の小・中学校や高校、幼稚園、保育所でそれぞれ入学、入園、入所式が行われました。公立保育所の入所式は、市コミュニティセンターで合同で行われ、新規入所児童113人が家族とともに参加しました。矢本第二中学校では111人の新生入生が少し大きな制服に身を包んで入学。金子晴飛さんが誓いの言葉を述べました。日本ウェルネス宮城高校では、来賓の渥美市長が「高い志と大きな夢を持って大きな一歩を踏み出してください」と62人の新生入生に向けて祝辞を述べました。また赤井南小学校では、入学式の後に東北楽天ゴールデンイーグルスアンバサダーの銀次さんがサプライズで登場。入学祝いとしてチームキャップを贈り、喜ばせたほか、同校出身の投手大内誠弥さんもビデオメッセージで花を添えました。



赤井南小学校入学式



日本ウェルネス宮城高校入学式



矢本第二中学校入学式



公立保育所入所式



赤井南小学校の入学式後に子どもたちにチームキャップを贈る銀次さん

誠実かつ公正な職務執行誓う

辞令交付式 小中学校教職員服務宣誓式



辞令交付式



服務宣誓式

市役所の本年度辞令交付式を4月1日に、市内小中学校に転入した教職員の服務宣誓式を4月2日に、それぞれ市コミュニティセンターで実施しました。本年度の市が新規採用した職員は任期付と合わせて17人。また市内小中学校に転入した教職員は計34人でうち新規採用職員は7人となりました。式ではそれぞれ新入職員や転入教職員の代表者が服務宣誓を行い、「市民の奉仕者として誠実かつ公正に職務を執行します」と高らかに誓いました。

アサヒ飲料と東松島市「ボトルTOボトル協定」



本市とアサヒ飲料(株)は、自治体で生じる使用済みペットボトルをアサヒ飲料に提供し、再ボトル化につなげる「ボトルTOボトルリサイクル協定」を締結しました。本市で毎週分別収集されるボトルはととも状態が良い「特A」の評価を受けており、今回の水平リサイクルに役立てられていきます。(3月17日、市役所)

水平リサイクル推進へ連携



新1年生に 文具セット寄贈

県トラック協会石巻支部青年部会

県トラック協会石巻支部青年部会は、春から小学校に入学する石巻地方の新1年生に対して、交通安全を啓発する文具計1205セットを贈りました。このうち東松島市には310セットを寄贈。文具は自由帳と下敷きのセットで、交通ルールを守る大切さや信号、交通標識の意味などが記載されており、佐藤慎也部会長は「子どもたちの安全意識の向上に役立ててください」と思いを伝えていました。(3月9日、市役所)

令和7年度 第2回総合教育会議



中学校部活動地域展開など協議

令和7年度第2回総合教育会議では、市長や市教育委員が集い、8年度から始まる第3次総合計画の内容について共有したほか、教育振興に関する施策の大綱について協議を行いました。また中学校の部活動地域展開の現状やあるべき姿についても話し合い、引き続き地域の皆さんの協力を呼びかけていくことを申し合わせていました。(3月16日、市役所)



縄文からの 絆の強さ表現

木村元教育長が彫刻寄贈

元市教育委員会教育長の木村民男さん(右から5番目)が、彫刻「縄文の祈り」を市に寄贈しました。木村さんが桜の木を彫り、今のこの地に続く縄文時代の支え合いの暮らしや絆の強さを表現した作品で、昨年の県芸術祭の彫刻部門で最高賞を受賞しました。展示場所の奥松島縄文村交流館で寄贈式があり、渥美市長から感謝状を贈りました。(3月22日)

地域連携で 死亡事故ゼロへ



春の交通安全運動出動式&交通安全ブルー作戦

春の交通安全県民総ぐるみ(4月6日~15日)が県内一斉に行われ、東松島市では、道の駅東松島において「春の交通安全運動出動式」を実施し、森下環境大臣政務官にも出席いただきました。石巻警察署員や地域の交通安全関係団体、市役所職員など約150人が参加し、交通死亡事故ゼロに向けて、関係機関の連携や広報啓発活動の強化など、一丸となって取り組んでいくことを誓いました。式終了後は、パトカーが一斉に市内の巡回に出動しました。引き続き、東松島市交通安全指導隊や交通安全協会東松島支部の皆さんが「交通安全ブルー作戦」と題して、啓発グッズを配布し交通安全を呼びかけました。

東松島野球スポ少3選手が 東北選抜



台湾の少年野球大会に挑む

台湾台北市で開かれた少年野球大会(3月26日~4月1日)に東北選抜のメンバーとして東松島ブルーホークスの大江拓斗選手、鈴木遥斗選手、東松島ドリームズの金子晴飛選手が出場しました。3人は出発前の決意表明として、渥美市長のもとを表敬訪問し、活躍を誓いました。(3月24日、市役所)



スポーツ交流の発展を願う スポーツ健康都市表彰

スポーツ競技などで活躍した皆さんを表彰する「スポーツ健康都市表彰式」が開かれました。東京五輪の聖火が航空自衛隊松島基地に日本で最初に到達したのを記念し、本市は令和2年3月20日に「スポーツ健康都市宣言」を行いました。表彰式は令和4年度から開かれています。令和7年度は137人と4団体が表彰を受け、今後の世代を超えたスポーツ交流の発展を願いました。(3月20日、市コミュニティセンター)



被災者 サポートセンター 閉所式

事業は市社会福祉協議会が継承

東日本大震災以降、被災した市民の皆さんを支えてきた市被災者サポートセンターが国の第2期復興・創生期間の終了に伴い、3月31日で閉所しました。本年度からは県の補助金を活用し、市の委託を受けた市社会福祉協議会が見守り活動やお茶会開催など、市民の皆さんに寄り添った支援活動を継続していきます。

(3月30日、市地域福祉交流プラザ)

柔道金メダリスト 大野将平さん、永瀬貴規さんの 柔道教室



(株)丸本組創立記念柔道教室

(株)丸本組の創立80周年記念イベントとして、東京五輪2020で73kg級金メダリストの大野将平さんとパリ五輪2024で81kg級金メダルの永瀬貴規さんによる柔道教室が開かれました。石巻地方で柔道を習う子どもたちとその保護者が一堂に集い、大外刈りのコツなどを直接指導してもらいました。(4月11日、矢本運動公園体育館)



道の駅東松島で 大盛り上がり みちのくプロレスが やって来た!

岩手県を拠点に活動する「みちのくプロレス」のスペシャルマッチが道の駅東松島の屋外に設けられた特設リングで行われました。会場には多くの皆さんが集い、子どもたちがプロレスラーとの押し相撲や体操で交流を図りました。後半のスペシャルマッチでは、リング内外で迫力の攻防戦が繰り広げられ、観客の目を釘付けにしていました。(4月11日)